

図書館だより

2021年9月号
徳島北高等学校図書委員会



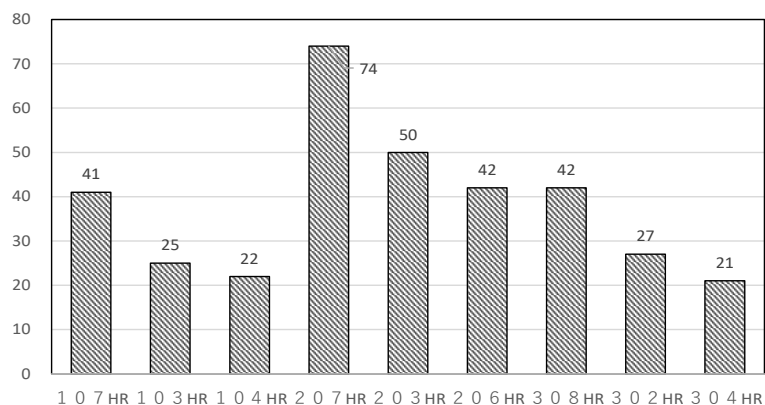
みなさん、こんにちは。北高祭も終わり、暑い夏もようやく終わりに近づいている気がします。北高祭では1・2年図書委員と先生方の「思い出の一冊」の紹介文と3年図書委員による「新聞切り抜き記事とコメント」を展示しましたが、見ていただけましたか。文化祭当日には73名の来館者がありました。ありがとうございました。これからの季節は秋。10月には読書会も計画していますので、ぜひ「読書の秋」にして秋の夜長を楽しみましょう。

<北高祭展示：図書委員の感想>

- 展示の仕方やポスター、配置などを褒めて下さった方もおり、やりがいを感じることができました。
- どうしたら作品が見やすいかを考え、紹介文の配置を工夫したり、マスキングテープ、色紙、絵などを用いて仕上げることができました。
- おすすめ本の紹介を書くために、図書館に行く機会が増え、本をよく読むようになりました。



学年別クラス別貸出冊数BEST 3 (7,8月)



図書委員のおすすめ本(◆の本は図書館にある本, ●の本は発注中の本です)

- 『優しい死神は、君のための嘘をつく』 望月くらげ著 KADOKAWA
103HR図書委員

この本は、今まで入院を繰り返してきた少女真尋が、不器用だけれど優しい死神と過ごしていく内に、生への執着を少しずつ思い出していく物語です。「死ぬことは怖くない」と思っていた真尋は、ある日、突然現れた死神から「余命は30日以内」だと告げられます。彼女の過ごした30日間は、読む人の心を温める力があると思います。毎日に疲れてしまったら、ぜひこの本を読んでください。明日も頑張ろうと思えると思います。

- ◆ 『ハリー・ポッターと呪いの子』 J.K. ローリングほか著 静山社
201HR図書委員

この本は、あの大人気シリーズ「ハリー・ポッター」の続編となる物語です。主人公はハリーの息子のアルバス・セブルス・ポッターで、大人になったハリーやその仲間たちも登場します。またハリーが現在している仕事が出てきたり、懐かしい人の登場など、ハリー・ポッターファンには、たまらない作品となっています。ぜひ読んでみてください!!

- ◆ 『こんな夜更けにバナナかよ』 渡辺一史 著 文春文庫ほか
201HR図書委員

この本は、筋ジストロフィーと向き合う1人の男性と、その男性を介護するボランティアの日常を描いたノンフィクション作品です。「ボランティアとは何か」、「生きるとは何か」、この作品を通して考えてみてはどうでしょうか?少し長いですが、読書の秋!! この機会にぜひ読んで見て下さい。

★小論文コーナー★

小論文対策の本を集めたコーナーを作っています!
ぜひ3年生のみなさんは、受験対策に活用してください。

★10月1日(金)1年生 クラス読書会

★読書会10月4日(月)放課後

★北高読書週間10月18日(月)~11月6日(土)

●開館時間 9:00~17:00

